

春

# かりがね

NO.  
368

Karigane

【季刊】かりがね

発行人／社会福祉法人かりがね福祉会  
昭和54年9月26日 第三種郵便物認可  
3、6、9、12月1日発行  
平成27年3月1日発行



## CONTENTS

表紙写真：希咲館

裏表紙：OIDEYOハウスの製品・販売先のご案内

P1 研修会報告・コミュニティカフェの活用

P2 各事業所の冬の様子

P3,4 希咲館の取り組み

P5 感謝録・おたより

P6 真田地域人物探訪 編集後記



## KARIGANE NEWS

### 研修会の報告

#### —自閉症の理解—

今回の研修会では、講師の宮下氏より自閉症スペクトラムの方の生き辛さや躓きについて有効な対処方法を導き出すといった課題をいただきました。それぞれの事業所あるいは職員一人ひとりが事前にまとめた内容を持ち寄り、当日のグループワークの場において発表致しました。今までは、講師の方からの一方的な話に終始しがちだった研修会でしたが、課題を頂きグループワークを行うことで、研修に臨む上での心構えと、職員間のコミュニケーションが図れたという点に於いて有意義な研修会であったと思います。



毎日新聞論説委員 野沢和弘氏



#### —障害を持たれた方の人権—

野沢和弘さんは障がい者虐待について、起こるべく原因とその背景、数字として広く世間に現れてこない原因について、行政、施設、保護者の視点から分析して提言されています。今回の講演では障がい者虐待の本質について改めて気付かされたと共に勉強させていただきました。尚余談ですが、野沢さんの自閉症の息子さんについて、ある施設長さんの『自閉症は治らないけれど、楽しい生活はできる』という言葉に救われた。とのことをおっしゃっていました。まさにその言葉の背景に、虐待へ向かうか否かのベクトルがあるのだと感じました。

### ライフステージかりがねのコミュニティ・カフェをギャラリーとして活用

風の工房では、コミュニティ・カフェをギャラリーとして活用し昨年11月より、アーティスト一人ひとりの方にスポットをあて、定期的に作品展を開催しています。一般の方々や他の利用者さん、職員にも見ていただくことでアーティストの方や風の工房の取り組み、表現の楽しさに触れていただければと思います。





## 各事業所の忘年会やクリスマス会で楽しみました!!

### ライフステージかりがね

みんなで楽しむのはもちろん、日ごろの感謝をお伝えする表彰式と、一年を振り返るスライドショーの上映を行いました。カラオケや記念品贈呈、皆が主役として沢山の笑顔が見られる1日となりました。



### アトリエFUU

FUU事業所内で美味しい食べ物をバイキング形式で食べたり、カラオケで大好きな歌を歌って頂いたり、サンタさんと一緒に流行の妖怪ウォッチ体操をして体を動かしました。ワイワイ楽しい1日を過ごしました。

### 重度包括支援センターえ〜る

メインイベントはビンゴ大会♪ あたった景品はサンタさんから手渡しです。大きな袋の中身はなんだろう?? 思い思いに楽しい1日を共有することができました。



### 共同生活サポートセンター

サポートセンターの冬は皆で暖かなひととき♡ホーム毎にクリスマス会を行いました。リクエストメニューを募り、自分たちでケーキを作りました。年明け初詣はグループ毎に真田神社などへ出かけました!今年も元気に過ごしたいですね。



### 風の工房

活動の様子を映像とともに半年間を振り返り、スタッフからメンバーの皆さんにメッセージカードなどを送らせて頂きました。また、地域の方がおもちをつきに來てくださり、家族会の皆さんにもご協力いただいて、おいしいおもちとおはぎを頂くことができました。

# 「働くちから」を引き出すために

## 自閉スペクトラム症による苦手さを軽減するための工夫

今回の表紙は就労支援事業所・希咲館です

### プロローグ

「これから社会に出て働きたい」「働くための力をつけたい」就労支援事業所・希咲館は利用されるメンバーさんの多くが、そんな思いを持っています。そのために必要なこととして「作業スキル(技能)」だけではなく、「その力を十分に発揮するため」に、私たち支援者が配慮しなければならないことが数多くあります。

今回、3つのエピソード(活動報告)とともに働くちからを支援することについて改めて考えたいと思います。

### エピソード1

メンバーさん自身が作成した、文字だけでなく写真も使った手順書によって、作業を行う順番が分かる

手順書(マニュアル)は、誰でも標準的にその作業が出来るようにという意味で広く活用されています。ただメンバーさんの場合、一般の手順書にプラスして自閉スペクトラム症の特性に配慮したものであることが重要です。

私たちにもベースとなる手順書があったのですが、改良を加えようとなつて、「メンバーさんにやってもらおう」と写真撮影などの情報収集からパソコンによる文書作成までお願いし完成から実利用に至っています。

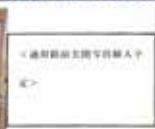
### エピソード2

写真・地図を使った活動チェックリストの利用  
全体の見取り図と細かい場所を記号でつなげて  
広い場所でもどこをやればいいのか分かる

真田運動公園グランド周辺での植木の剪定作業を、10月から12月にかけてボランティアワークという形でさせていただきました。見取り図や木を一本ずつ写真に撮り、実施場所が分かるようにチェックリストを作成しメンバーさんとスタッフが進行状況を共有しやすいように進めました。

#### 管理棟玄関掃除手順書(正面玄関・こもれび(女性棟)通路前玄関

#### 園・職員玄関・ひだまり(男性棟)前玄関)



※これらの玄関掃除は、正面玄関→こもれび(女性棟)通路前玄関→職員玄関→ひだまり(男性棟)前玄関という順番で玄関掃除をします。

番号	作業内容	注意点	必要な掃除用具
①	フロアーマットを外に出しましょう。	なし	なし
②	玄関用ほうきで玄関内部を内側から外側へ掃き、その後、マットに付いているゴミをほうきで掃きましょう。	※風が強い日は外へ逃げるどアは閉めましょう。 ※マットに付いているゴミがどうしても取れないときは掃除機を使いましょう。	玄関用ほうき <玄関用ほうきの写真>
③	ゴミを玄関用ちりとりで集め、集めたゴミを希咲館から持ってきた新聞紙に包んで持ち帰ります。		玄関用ほうき、ちりとり、新聞紙 <ほうき、ちりとり写真>

▲メンバーさんのアイデアで構成されたそうじ作業の手順書



▲手順書を基にライフステージかりがねで「そうじ作業」を行っています





▲記号 (B-2) により場所を特定し選定作業を進めてもらいました。全体見取り図にも合わせた形で同じ記号が記されています。



▲剪定作業終了後、選定鉄を使ってきれいに刈りこまれています。

## エピソード3

**タイムスケジュール(日程表)による活動進行の共有  
あと何分後には休憩、次は何をするのかが指示する  
人がいなくても予測できる**

ひとりでの活動であれば、「おおよその時間」とか「だいたい時間」で進めることは可能です。しかしメンバーさんはそれが苦手で、なおかつ複数で作業活動をするとなればタイムスケジュールは必須となります。ほぼすべての活動でタイムスケジュールを基本に活動を始めそして終了しています。

### ボランティアワーク剪定作業・スケジュール

9:40	道具準備
	剪定はさみ・熊手・運搬用折り畳み袋・運搬用折り畳み椅子 革手袋 それぞれ3セット お茶セット(コップ3) Hさん・徒歩にて母屋に移動
9:50	出発 教育事務所着 あいさつ(代表ひとり)
10:00	ミーティング 作業打ち合わせ・場所の確認
10:10	活動開始 それぞれ散開して行う
10:50	休憩 場所は管理棟自販機前あたり
11:00	活動再開
11:50	活動終了 スタッフによるメンバーさん回収
13:00	ミーティング 作業打ち合わせ・場所の確認
13:10	活動開始 それぞれ散開して行う
13:50	休憩 場所は管理棟自販機前あたり

▲グラウンド整備選定作業のスケジュール メンバーさん3名とスタッフで共有して作業を進めます

## エピローグ 私たちの支援の行く先

私たちの支援は大きく云うと、自閉スペクトラム症・発達障害によって社会生活や対人間関係に「生きづらさや、苦しさ感」を持った人たちへの、その「克服」のための手伝いをする事です。ここで大切なのは個人の努力によってのみ「克服」を完結させないことです。言い換えると「頑張れる環境が整って初めてひとはがんばれる」となるのでしょうか。

具体的には

- ①耳からの情報・聴いて理解するより、目からの情報・視て理解することが解りやすい。
- ②いくつかの物を組み合わせたり、つないだりして考えること想像することが苦手なのでひとつひとつ順番に進めていった方が進めやすい。
- ③色んなことを言われると混乱するので、今必要なことのみ伝えてもらった方が良い。

などへの配慮を持った支援・アプローチが必要です。

そのような苦しさ感を持っているメンバーさんの持っている力を最大限引き出すこと、引き出せる環境を作ることが私たちの支援の中心(核)だと考えています。

また、メンバーさんが主体となって行なうことも大切で、個人によって差はありますが、それぞれ課題を持って活動にとり組んでいます。(竹井)

# 感謝録

皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

※敬称略させていただきます 平成26年4月1日～平成26年12月31日

## 寄贈物品

山口けさみ 真田中学校 柳澤正敏 柳沢  
安藤善晴 長小学校5年生の皆さん 東信ガス  
相沢喜世子 吉野修通 柳沢仲治 真田フルーツ  
神津澄夫 平林徳雄 上原伸一 (有)加藤製作所  
井沢完司 遠藤晃・供子 牛乳パック、林檎、  
白菜、米、ジュース、みかん、柿、花苗、  
タオル、じゃが芋、シーツ他

## 寄付金

小林彰 合計 51,475円

## 平成26年度運営会員ご入会者

■長野県 小林彰 内藤光恵 小西葉子  
月内けさみ 坂口祐紀 笠原栄司・恵津子  
宮嶋正範 宮下智 (有)加藤製作所 尾崎友則  
アオヤギ印刷 岡崎いづみ 匿名希望  
■東京都 岩島斐子 中嶋泰子  
■埼玉県 中村勇 室伏由喜

(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

## 平成26年度運営会費納入金額

	会員数(名)	会費(円)
長野県	401	1,824,261
北海道	5	43,000
東北地方	7	42,000
関東地方	78	536,981
中部地方	12	61,000
北陸地方	9	63,000
近畿地方	11	72,000
中国地方	2	6,000
四国地方		
九州地方	1	10,000
合計	526	2,658,242

(平成26年12月31日現在)



平成27年1月1日～平成27年12月31日

日頃運営会員の皆様から、会費振込用紙の通信欄やお手紙等を通して温かいメッセージを頂戴致します。お名前はイニシャルにさせていただきます。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

●みな様のご健康とご活躍にいつも  
エールを送っています。かつてお  
訪ねしたこと、なつかしいです。

若者よ 青い光をしっかりと放て  
青く青くどこまでも青く

川崎市 M様

●通信を受けとり、とても楽しい  
です。 神戸市 K様

●かりがねの皆様が今年もご自分  
の道を歩まれますよう祈ってお  
ります。 仙台市 I様

●皆様のご健康とご多幸をお祈り  
申し上げます 佐久市 K様

●例年にない寒さとたくさんの雪  
に閉口致しますね。皆様お元気  
でお体に気を付けてお過ごし下  
さいますよう念じ上げます。

真田町 M様

●この国に 祈る平和や 今朝の春  
名古屋市 宮澤素流様

●どうぞ皆様お健やかに過ごし  
くださいませ 諏訪市 U様

## 運営会員ご加入のお願い

かりがね福祉会は皆様のご支援によって支えられていま  
す。会費は法人施設の設備や備品の充実等のために使わ  
れます。また、会員の方には年4回機関誌等を送付してい  
ます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げま  
す。専用振込用紙のお取り寄せ、その他お問い合わせは法  
人本部までお願い致します。

### 年会費

1口 1,000円(何口でも結構です)

### 期間

1年単位(ご入会より1年間)

### ご入会方法

●ゆうちょ銀行 [00550-3-8487]

名義「社会福祉法人 かりがね福祉会」

●上田信用金庫 真田支店 [普通預金: 95578]

名義「社会福祉法人 かりがね福祉会 理事 小林 章」

# 真田地域 人物探訪

若林幸正

社会福祉法人かりがね福祉会元理事（角間自治会在住）

第六回

真田区

## 宮下金次郎(重之)氏 (事業家)

### 宮下金次郎翁

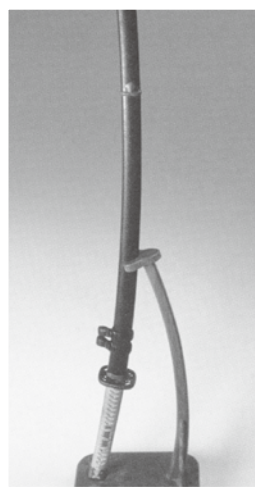
天保13年5月20日 長村字真田の宮下重堅の次男として生まれる。

○職歴：当時洗馬村、殿城村、森村、小井田村を合わせて小県郡第21区の副区長、明治7年戸長を歴任。

### <翁の功績>

#### 勤王の活動

明治元年27歳で維新の大変革に会った宮下金次郎は、勤王の熱情をおさえがたく、京へ上り官軍の一員として横尾の北沢金平らと共に北越の地で賊軍と戦う。平定後、東京民政局に出仕し在官中三宮義胤と共に独逸語の修得を命ぜられた。しかし、母の願いにより明治3年官職を辞して帰郷する。



有栖川宮より拝領の太刀

### 長小学校創立に貢献

明治6年長村小学校創立に際し、率先して学校の創立を導き、資金の募金、校舎借入、教師の雇入、校具の調達など長小学校の創立に大いに力を尽くし、東奔西走、教育の全般について配慮し、ついに村民の心を学事に向けた。明治6年第1回入学式を行う。養生学校から成治学校と改称し、明治7年更に水哉学校と改称する。宮下金次郎翁は長小学校開講の祖と崇められている。

### ○旧真田町他1市1町財産組合創立に貢献

明治7年戸長に任されて同年、地租を改正する。地順帳を作成し地番を入れ、官有地、民有地の所有権を明らかにすることにしたが、旧57ヶ村の入会地者は、従来の官有地そのままにして納税はせず入山は今までと同様にすると反対があったが、宮下金次郎はこれらの人々を説得して、入会地の所有権を確立した。これが現在の「上田市東御市真田町財産組合」でありこの功績は誠に偉大と賞賛するものである。

### コラム

- ・宮下金次郎は、地元開発の事業の他にも、開発の精神に燃えて、北佐久追分に牧場を経営、神科村山口にぶどう園を造るなど広く事業を経営した。しかし多くの資金を費やし、また事業の失敗により多額の負債を生じ、村内の資産家に迷惑をかけ晩年は悲惨をきわめた。誠に惜しいことである。大正7年5月30日歿す。享年77歳。
- ・長小学校の跡を訪ねると、横尾区の信綱寺入口に「横尾学校の跡」長小学校正門前に「水哉学校の跡」の石碑が昔の面影を残している。宮下金次郎の号も「水哉」であり、法名も「水哉亭通貫衛天居士」
- ・勤王の活動の功績として、当時有栖川宮より拝領した白銀造太刀が山家神社の宝物として保管されている。

文献：長村人物誌・長村誌・山家神社平成の大改修記念誌

## 編集後記

寒さも本格化して、雪も次第に多く降るようになりました。去年の今頃、大雪にみまわれ、色々と不便な日々が続いたことを覚えております。今年も去年に比べればまだ大雪とまではいきませんが、注意しなければなりませんね。毎日冷え込み激しいですが、それでも毎日一生懸命に山村を歩かれて運動されています。

皆様にこの機関紙が届くころには、春の陽気でポカポカしているのかまだチラチラと雪が降っているのか定かではありませんが、あと一月で新年度、別れと出会いの季節です。新たな出会いへの期待を胸にしながら、日々過ごしていきたいですね。（大池）



## 織り・雷グッズ新商品



- 販売してからおかげさまで 人気のねこポーチ  
よ〜く見ると表情がひとつずつ違います  
お気に入りの顔をした、相方ねこさん、  
見つけてみてはいかがでしょう
- ミニ雷フラッグはお部屋のインテリア  
小さくても元気な色合いが、お部屋を明るくします♪

## 乾燥えのき新商品



OIDEYO 乾燥工場で作られた乾燥えのきを使った新商品「干しえのき昆布」が中野市にある㈱ダイヤモンドで販売されています。こちらの商品つけもの品評会で長野県漬物協同組合理事長賞をいただきました。詳しくは乾燥工場まで ☎0268-73-2292

## 新たな販路

**studio nucca** (スタジオ ヌッカ)

福岡県にある、アトリエ型就労支援事業所として就労継続支援 B 型、就労移行支援を行っている施設です。  
店頭での販売も行っており、OIDEYO ハウスの商品も置かせていただいております。



銀座にお店をかまえる、  
信州の魅力を発信する  
アンテナショップ  
「銀座NAGANO」  
石森㈱が販売している  
乾燥バリッとシリーズ  
「えのき、りんご、大根」は  
OIDEYO ハウスで  
作られたものなんです♪

- ねこポーチ ...1000円
- ミニ雷フラッグ ...500円
- 雷バッグ(小) ...1980円
- 乾燥えのき...100円  
※県内価格

## お問い合わせはこちらまで

OIDEYO ハウス ☎0268-73-0005  
乾燥工場 ☎0268-73-2292  
お気軽にご連絡ください♪  
HP <http://oideyohouse.com/>  
twitter @OIDEYO2  
Facebook OIDEYO  
もチェックしてみてください。

## 社会福祉法人 かりがね福祉会

URL <http://www.karigane.or.jp/>

### ■法人本部／ライフステージかりがね

■つつじ	〒386-2201	長野県上田市真田町長6430-1	TEL.0268-72-3431 FAX.0268-72-4406
■在宅支援センター・重度包括支援 え〜る	〒386-2201	長野県上田市真田町長6430-1	TEL/FAX.0268-75-5431
■共同生活サポートセンター	〒386-2201	長野県上田市真田町長6430-1	TEL/FAX.0268-72-8022
■風の工房	〒386-2202	長野県上田市真田町本原531-1(よつばのいえ内)	TEL/FAX.0268-72-2434
■OIDEYOハウス	〒386-2201	長野県上田市真田町長2464-1	TEL.0268-72-2151 FAX.0268-72-4976
■アトリエFuu	〒386-2203	長野県上田市真田町傍陽8551-2	TEL/FAX.0268-73-0005
■希咲館	〒386-2202	長野県上田市真田町本原531-2	TEL/FAX.0268-72-1061
	〒386-2202	長野県上田市真田町本原1491	TEL/FAX.0268-72-5067
	〒386-2201	長野県上田市真田町長6130-6	TEL/FAX.0268-71-5305
■いこいの家	〒386-2202	長野県上田市真田町本原2376-2	TEL/FAX.0268-72-8008

会員・読者の皆様からのご意見・ご感想お待ちしております。「機関誌編集委員会」までお寄せ下さい。